

大好評のバスツアーがオンライン開催!

全国から
67名の方が
参加!

※2025年5月開催



圧倒的地域トップクラスの整備工場は 時流をどのように捉え"今"何をしているのか?

生産性・整備士満足度

を劇的に向上させる 整備工場視察ツアー

わずか
10年で!



8万人商圏で
車検7,000台



整備士平均年齢
28歳



新規入庫が
月間100台以上



整備士一人当たり
粗利150万円



整備士平均年収
500万円

現場のオペレーション
や店舗・工場の
様子を動画で全て
解説します!



株式会社サンアイク
代表取締役

愛敬 薫 氏

生産性向上・働き方改革モデル企業オンライン視察セミナー

お問い合わせNo. S131593

主
催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

お申込みはこちらから→



当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に『お問い合わせNo.』を入力ください。) → 131593 🔍

車検台数は驚異の**8,000**台！

整備士の平均年齢**28**歳で

平均年収は**500**万円超え！

人材もお客様も集まる地域**1**番整備工場

株式会社サンアイクのご紹介

株式会社サンアイクは、創業23年、年商18億円、従業員数53名、うち整備士数25名を誇るトータルカーライフサポート企業です。地域に根差しお客様に愛される企業を目指し事業活動を行っています。また、お客様だけでなく、働く従業員の職場環境づくりや働きがいの醸成にも力を入れており、不人気業種である自動車業界でも、若手社員が入社し長く働いています。その成果により、人口が8万人しかない町で、毎月100件を超える新規のお客様が入庫、来店したお客様へは高いモチベーションで働く若手スタッフが対応し、非常に高い満足度であることが伺えます。(Googleの口コミでは平均★4.3、2025年2月末時点)
同社のお客様と従業員両方の満足度の追求した結果、指定工場を取得してからたったの10年で車検台数は20倍以上、車検台数は400台から7,000台と10倍以上に成長しています。



総合 年表

平成13年 合資会社サンアイクカンパニー創業
平成18年 株式会社サンアイクへ組織変更
整備工場完成、認証取得
平成23年 128号線沿いに整備工場を移転
平成27年 車検の速太郎に加盟

平成29年 車検台数3,000台に到達
令和2年 整備工場を移転オープン
車検台数5,000台到達
令和6年 株式会社船井総合研究所主催
整備工場経営研究会 MVP

株式会社サンアイクのここがスゴイ！

整備売上高

一般的な整備工場

6,700万円

サンアイク

4億円

整備士平均年齢

一般的な整備工場

51歳

サンアイク

28歳

整備士平均年収

一般的な整備工場

388万円

サンアイク

500万円

離職率

一般的な整備工場

20%

サンアイク

7%

月間平均残業時間

一般的な整備工場

20時間

サンアイク

10時間

指定工場の平均車検台数

一般的な整備工場

833台

サンアイク

7,000台

※整備売上高・整備士平均年収・整備士平均年齢：一般社団法人日本自動車整備振興会連合会『自動車特定整備業実態調査結果概要』より

※離職率：厚生労働省『雇用動向調査結果の概況』より

※月間平均残業時間：厚生労働省『賃金構造基本統計調査』より

※指定工場の平均車検台数：

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会『自動車特定整備業実態調査結果概要』と

国土交通省『自動車検査業務量』・軽自動車検査協会『検査関係業務量』より、船井総研独自に算出



地域一番整備工場をインタビュー 株式会社サンアイク 代表取締役聞く

Q 素晴らしい業績の伸びですがこの業績の伸びは何が最大の要因でしょうか？

A ありがたいことにたくさんのお客様にご利用いただいています。この要因は、マーケティングと人材育成の両輪が上手く回っていることだと思います。中でも自社の強みは従業員が自発的に考えて、お客様のためにより良い接客をしようという努力を継続したことだと感じます。マーケティング施策は真似されますが人材育成は簡単に真似できません。もちろん初めから上手くいったことはありませんでした。過去に自分たちでは何も考えず、とりあえず“やれ”と言われたことを何も考えずにやっていたらよいという従業員ばかりの時もありました。その状況に危機感を感じ、人材教育のためにまずは自分で勉強を始めました。そこから外部企業の力も借りながら3〜5年をかけて今の状況になったと感じています。

Q 従業員教育は具体的にどのようなことを行ったのでしょうか？

A 取り組みを上げ出したらきりが無いほど実施してきました

した。その中でもよかったものを残しながら、継続しています。今は月に1度の全体会議を大事にしています。会議は終日店舗を閉めて実施しています。そこでは、全体への価値観共有や、お客様からいただいたアンケートを基にした改善活動を行っています。これらを継続して行うことで、従業員には私の考えが伝わっていき、同じ方向を向いて仕事が出来ているのではないかと思います。

Q それらの取り組みを行っているような効果を感じていらっしゃるのでしょうか？

A まず、定量的なところでは、直近で定着率93%ほどと高い水準で推移しております。また、一人あたりの粗利を一つの重要指標としており、現在では整備士一人あたりの粗利は月間150万円ほどと非常に高い実績が出ています。そのため、それを給与にも反映させており、平均年収500万円を超えるまでになりました。当たり前ですが、給与も従業員のモチベーションに非常に大きな要素であると思っていますし、整備士の仕事はもっと評価される



べきだと個人的に思っているので、給与を上げることが私にとっても経営のモチベーションになっていきます。給与を上げるのも簡単ではないことは分かっています。それを実現するための評価制度の構築などにも取り組んでいます。あと、一番嬉しいのはお取引先の企業の担当者様や、同業他社が見学に来られる際に、うちの従業員の対応の良さや挨拶を褒めてもらえることです。社員が褒められることは経営者として一番嬉しいことかもしれません！

Q 整備士の平均年齢が28歳、外国人整備士・10代の女性スタッフが活躍するなど、多様な人材が活躍しています。が、苦戦している整備工場が多い中、なぜそれが可能なのでしょうか？

A やはり教育体制が整っているからだと感じます。当社では、『同様のミスやクレームが3回発生したら、仕組みにします』ということを決めていきます。同じミスが何度も起きるということは会社の仕組みが悪いと考えているからです。決まった仕組みはしっかりと運用されているかどうか各上長が管理しています。また、会社の方針や大事にしている価値観は全て、明文化し手帳にして渡しています。従業員は判断に悩んだときや、次のキャリアステップを描くときに参考としていつでも見ることでできます。何をしたら評価されるのか、反対に何が株式会社サンアイクにとってダメな行動なのか分かるようになっていています。本設問の答えとしては、業務をルール化・仕組み化して誰でもできるように整えようということが多様な人材が活躍できる要因であると思っています。

Q 100年に一度の変革期と言われる自動車業界ですが、今後生き残る整備工場はどのような工場だと考えていらっしゃいますか？

A これは、わたしのなかでは明確で、整備士の働く環境を整えることが出来る整備工場が生き残ると考えています。ここで言う『働く環境を整えること』とは、ハード・ソフト両面を指しています。ハード面で言えば空調設備を導入する、最新の設備工具を取り揃えるといったこと、ソフト面は先述の通り、誰でも活躍できる仕組みや、評価・賃金制度、など幅広い意味を含んでいます。これらをやり切り、整備士が集まる会社が生き残ると考えています。全国的にも経営者が高齢化していることもあり、整備工場の数は減少していくことは想像に難くありません。そうになると、仕事があふれてくれるから集客は存続していれば勝手に増えると思ってしまう。しかしながら、それらを生産する整備士がいなければ、そのチャンスをものにできません。だから、働く環境を整えることが“今”整備工場が今すぐに取り組むべきことだと考えています。

Q 働く環境を整えるために何から取り組むのが良いでしょうか？

A これは各社の状況によって違うので一概に“これ”というのは難しいです。しかしながら、一つ言えるのは、まずは社長自らが情報収集をすることがスタートであると思います。たくさんさんの情報を聞く中で、同様の悩みを持つ整備工場も出てくると思いますし、なんならその課題を既に乗り越えた会社も出てくるかもしれません。とにかくにも情報収集を徹底的に行うことが重要だと思います。情報収集をしたのち、自社にとって何をすべきなのか、どのように進めていくべきなのかを決めていくことが最も効果が出て進みも早いやり方ではないか、と思います。そういった意味では、悩んだときに船井総合研究所に相談してみるのは良いと思います。情報収集をしたいなら、研究会に参加すれば良いし、それを踏まえて具体的な実行フェーズのフォローが欲しければ、個別で依頼をすれば良い。船井総研に限らずですが、外部の力を借りることもこれからの時代重要であると考えます。

Q 最後に、インタビューをお読みの皆様へメッセージをお願いいたします。

A ここまで偉そうに語ってきましたが、我々もまだまだ道半ばであると考えています。全国には足元にも及ばないレベルですごい実績を出している企業があることも分かっています。しかし、そのような我々でもお役に少しでも立てるのであれば、是非ご来社ください。当日は万全の状態でお迎え致します。



整備工場経営の最先端時流がここにある!!

車検7,000台！株式会社サンアイクを丸裸にする1日

contents 01 年間整備士一人当たり粗利1800万円！

整備士一人当たり売上高の業界平均は約1560万円と言われています。サンアイクは粗利で、業界平均売上高の約1.2倍の1,800万円を叩き出しています。そんな高い実績を出せる秘密は特別なことをしているからではありません。細かな取り組みの積み上げでこの高い実績を出されています。設備・導線設計・整理整頓など現場でその秘密を体感してください。



contents 02 人手不足時代に対応！多様な人材の育成術

サンアイクで働く整備士の平均年齢は28歳と、業界平均の20歳以上若い人材が活躍しています。外国人整備士、無資格整備士、業界未経験の10代のスタッフなど、多様な人材が活躍していることも大きな特徴です。社内で教育体制の構築や、業務の徹底した仕組み化などで誰でも働きやすい環境が実現しています、



contents 03 お客様に愛される地域密着経営の神髄

人口8万人と決して多くない地域で、年間1,000件を超える新規顧客の獲得を実現している同社。新規客の多くは顧客からの紹介で獲得しています。お客様から圧倒的に高い満足度を獲得できているからこそその実績で、なぜそれほど高い満足度を生み出せているのか、その秘密を探ります。



contents 04 成熟業界の未来をどのように乗り換えるか

これまでお読みいただいたことで、業界の多方面ですばらしい実績を数多く生み出しているかを理解できたのではないかと思います。圧倒的に高い成果を出す整備工場が今後の未来をどのように描いているのか、是非当日お聞きください。





視察ツアー参加をご検討の皆様へ。

私たちがこの視察ツアーを企画しているのは、普段セミナーで解説している上手くいっている事例を生でご覧いただきたいと考えているからです。前回の視察セミナーでは年間1,000件以上のセミナーを行う船井総研でもトップクラスのお申し込みをいただきました。皆様の関心の高さを改めて実感し、株式会社サンアイクに再度お願いしオンラインセミナーにて開催することとなった次第です。今後、開催予定はございません、是非このタイミングでご参加ください。

株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 リーダー
浜中 健太郎

実際に何を見られるの？聞くことができるの？

①無駄を省いたキャディーの中身

- ・生産性の高い工場のキャディーには何が入っているのか？
- ・どのような考えで工具を選ぶのか

②60分で車検を終える！ フロント・整備士・検査員の動き

- ・来店～出庫まで各担当者の動きを追う
- ・効率的なオペレーションの全体像

③整理整頓の行き届いた 無駄のない整備工場

- ・皆様の工場の整理整頓基準が変わる、徹底された整理整頓
- ・どのように綺麗さを管理しているか

④生産性アップのために 辞めること・捨てること

- ・整備士の生産性を第一に！一般的な整備工場の当り前を見直し、生産性向上

10

“高生産性”モデル整備工場
サンアイクから学ぶ
のポイント

⑤予約の取り方で効率化

- ・どのような予約表、工程管理表を使っているのか
- ・空き時間をなくす、予約表とは

⑥見積もり作成最短1分！ 超効率的な見積もり作成手法

- ・業界未経験の新卒女子が、たった1分で見積もり作成
- ・短時間で見積もり作成できる仕組み

⑦外国人整備士が60%で 効率的な工場運営する秘密

- ・外国人整備士が10名以上在籍！
- ・採用時の選び方のポイント
- ・上手な育成手法とは？

⑧忙しいのに人が辞めない！ やりがいと安心を両立する仕組み

- ・会社を変えるのは社長が変わる理念経営を推進し、人が辞めない会社に変貌

⑨お客様が離れない！ 顧客向けイベントの開催

- ・お客様に喜んでもらう！年に複数回実施する感謝祭
- ・紹介で年間800件超えの新規客

⑩人口減少が進む町で生き残る 全国のモデルとなる経営戦略

- ・地域トップクラス企業の成長戦略とは？
- ・整備工場の目指すべき方向性

前回ご参加いただいた方のお声を紹介します！



北海道 代表取締役・事業本部長

社長が変わらなければ駄目だということが響きました。本日はありがとうございました。

埼玉県 代表取締役

本日は貴重なお話や見学をさせていただき、ありがとうございます。実際の取り組みや考え方にとっても感動しました。明日から業務にすぐにも取り入れたい学びが沢山ありました。御社を目標にし、自社に取り入れて行きたいと思えます。



三重県 取締役

店舗の綺麗さ、工場の導線など緻密に考えられていてすぐに真似したいと思いました！学ぶことが多すぎて全て真似することは難しいのでまずはできるところから行きます。ありがとうございました。

今より業績向上を目指したい企業へ

整備工場向け定例勉強会

「整備工場経営研究会」無料お試し参加のご案内

100年に一度の変革期を生き残る

整備工場になるために 一緒に学びませんか？

2025年

11.11 火

10:30-

16:30

(受付開始:10:00~)

こんなお悩みありませんか？

☒ 整備工場の成長戦略を知りたい

☒ 整備士の給料や人材採用、育成手法を知りたい

☒ 業績が好調な企業の成功事例を詳しく知りたい

場所: 船井総研グループ東京本社
サステナグローススクエア TOKYO

持続的な企業成長を続けるために整備事業の強化

■ 午前 - 整備工場経営に必要な様々なテーマを網羅します！

- ① 整備業界時流 ② 人的資本経営 ③ M&A・事業承継 ④ 人材採用・組織制度事例
⑤ 生成AI ⑥ 集客・単価アップ ⑦ モデル企業ゲスト講座 ⑧ webマーケティング・SNS

■ 午後 - “生”の事例が知れる！会員同士の情報交換会

- ・あなたが目指すべき1歩先に行く先輩企業が見つかります。
・同じ悩みを抱える経営者が参加しており、個人で繋がり励まし合い高め合える仲間が見つかります。

■ 当日のスケジュール

- 10:30~12:40 : 第1/2/3講座
12:40~13:30 : お昼休憩
13:30~16:00 : 情報交換会
16:00~16:30 : まとめ講座

■ 入会特典

- ① ゲスト講師からの特別講座
② 会員同士の情報交換会
③ 現場スタッフ向けオンライン例会
④ 30分Zoomコンサルティング



【お申し込みはこちら】



■ 内容に関するお問い合わせ : 浜中健太郎 (ハマナケンタロウ) ■ お申し込みに関するお問い合わせ : 鈴木利依奈 (スズキリイナ)
【E-Mail】autobiz@funaisoken.co.jp 【TEL】03-4223-3166 (平日9:30~17:30) ■ お問い合わせNo.K112500

- お申込みいただいたにもかかわらずメールがお手元に届かない場合は、開催4日前までにご連絡ください。
- ご参加を取り消される場合は、事務局宛にメールまたはお電話にてご連絡ください。
- 諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はメール等ご案内方法記載にてご確認ください。また最小催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。
- 代表者を含め1社2名様まで1回限り無料でご招待いたします。経営者・事業責任者向けの研究会ですので、代表者のご参加が必須です。

生産性向上・働き方改革モデル企業オンライン視察セミナー

当日の講座スケジュール

第一講座

「車検台数10年で400台から7,000台へ」地域密着での成長の秘訣大公開

- 自動車整備業界の現状と課題を分析し、地域に根ざしたサンアイク独自のビジネスモデルをご紹介します。年間車検台数7,000台、年間入庫台数20,000台を達成、地域トップクラスの支持を得るに至った戦略を解説します。
- 整備士一人当たり生産性150万円、平均年収500万円を実現した人材育成と、20代の整備士や女性整備士、外国人整備士が活躍できる多様性のある職場環境づくりの秘訣を学びます。
- 新規車検台数月間150台、うち紹介車検が70台！顧客満足度を高め、リピーターを増やすための具体的な施策を学びます。

株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 リーダー 浜中 健太郎



第二講座

【視察】生産性の高い工場のリアル

- 第二講座では実際に生産性の高い整備工場のリアルな動きや雰囲気動画を視聴いただき、具体的に解説いたします。
- 視聴いただく動画では、生産性を上げるための10のポイントに絞ってご覧いただきます。
- ポイントの一部
- ①最初やるべきはこれ！隅々まで行き届いた整理整頓術
- ②多すぎる工具が生産性を下げる！工具キャディーの中身と意図
- ③在庫管理で残業を減らす！実際の予約表大公開 他

株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 リーダー 浜中 健太郎

第三講座

【パネルディスカッション】サンアイク社長が語る！

地域トップクラスの経営哲学と人材育成術

- 創業からの道のり、経営理念、地域への想いを語ります。経営者としての決断力、リーダーシップ、社員への熱い想いに触れ、経営の本質を学びます。
- 整備士の平均年齢28歳という若い力を活かし、高い技術力とチームワークを育んでいる秘訣を公開します。社員一人ひとりが成長できる環境づくり、評価制度など、人材育成のノウハウを学びます。
- サンアイクが年間休日110日、有休消化率80%、平均残業時間10時間未満という働きが環境を実現している理由を解説します。従業員満足度を高め、生産性向上に繋げるための具体的な施策とは

株式会社サンアイク 代表取締役 愛敬 薫 氏



第四講座

本日のまとめ講座

本セミナーで学んだ知識やノウハウを、貴社の経営に具体的に落とし込むための実践ステップを明確に提示します。目標設定、計画策定、実行、評価、改善というPDCAサイクルを回し、継続的に成果を出すための方法を学びます。

株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 マネージャー 新村 雅也



開催概要

開催日時	2025年 9月 11日(木)・12日(金)・15日(月)	開催方法	スマホ・タブレット・PCがあればどこでも受講可能！ オンラインにて開催
	(ログイン開始：開始時刻30分前～) 13:30～16:30 ※全日程同様の内容のセミナーです。ご都合の良い日程をお選びください。		銀行振込み：開催日の6日前まで クレジットカード：開催日の4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます。
受講料	一般価格 税抜15,000円(税込 16,500円)/一名様	お申込期日	会員価格 税抜12,000円(税込 13,200円)/一名様
	●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧：FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用になります。		

お申込み方法



【QRコードからのお申込み】

右記QRコードから
お申込みください。



【PCからのお申込み】

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/131593>

船井総研ホームページ(<https://www.funaisoken.co.jp>)に右上検索窓に「131593」をご入力し検索ください。



【お問い合わせ】
船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

TEL 0120-964-000(平日9:30～17:30)

※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索して確認ください。 ※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。